

第72回国民体育大会<sup>えがお</sup>愛顔つなぐえひめ国体結果報告書 2017.10.7

栃木県テニス協会  
総監督:阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 平成29年10月1日(日)～10月4日(水)
- ・会場 愛媛県総合運動公園テニスコート・松山中央公園
- ・主催 (公財) 日本体育協会・文部科学省・愛媛県  
(公財) 日本テニス協会・松山市

2. 試合方法

- ・競技は、各種別それぞれ3ポイント(単2・複1)とし、その勝敗は獲得したポイント数の多少によって決める。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切る。また、同時進行の場合も同様とする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督:阿久津定之

1. 成年男子 監督:阿久津定之 選手:玉腰敬大、鈴木佳太
2. 少年男子 監督:毛塚英樹 選手:横田大夢、青木智寛
3. 少年女子 監督:諏訪礼子 選手:諏訪円香、佐藤成美  
トレーナー:吉村健児

4. 試合結果

■成年男子 1回戦 対 愛媛県:10月1日(日)

	栃木県	0-②	愛媛県(第1シード)
S1	玉腰敬大	●1-8○	片山 翔
S2	鈴木佳太	●1-8○	佐野紘一
D	玉腰敬大 鈴木佳太	打切り	片山 翔 佐野紘一

■少年男子 1回戦 対 鹿児島県:10月1日(日)

	栃木県	②-0	鹿児島県
S1	横田大夢	○8-5●	山崎広耀
S2	青木智寛	○8-6●	八郷 克
D	横田大夢 青木智寛	打切り	山崎広耀 八郷 克

■少年男子 2回戦 対 北海道：10月1日(日)

	栃木県	②-1	北海道
S 1	横田大夢	○8-5●	折戸寛紀
S 2	青木智寛	●2-8○	久保井恭
D	横田大夢 青木智寛	○8-4●	折戸寛紀 久保井恭

■少年男子 3回戦 対 新潟県：10月2日(月)

	栃木県	0-2	新潟県 (第4シード)
S 1	横田大夢	●7-9○	田中瑛士
S 2	青木智寛	●1-8○	池田笑生
D	横田大夢 青木智寛	打切り	田中瑛士 池田笑生

■少年女子 1回戦 対 三重県：10月1日(日)

	栃木県	0-②	三重県
S 1	諏訪円香	●3-8○	吉岡希紗
S 2	佐藤成美	●4-8○	吉田明日香
D	諏訪円香 佐藤成美	打切り	吉岡希紗 吉田明日香

5. 所感

国体が愛媛県で開催されるのは実に64年振り、その時は四国4県で開催されましたが、愛媛県単独で開催されるのは今回が初めてになる国体だけに県を挙げて盛り上がった大会でした。テニスが開催された松山市は道後温泉で有名な観光地だけにホテルや宿泊施設も多く、選手も食事等では満足のできる環境で試合に臨めました。また、テニスの会場は2か所に分散となり、成年男女は松山中央公園で人口砂入りコート、少年男女は総合開会式が行われた愛媛県総合運動公園のハードコートでおこなわれました。

成年男子の初戦の相手は開催県の愛媛県、今回の第1シード、しかも2選手とも日本リーグで活躍している伊予銀行のプロ選手です。地元声援はもちろん、テレビ局のカメラ、また、多くのカメラマンがコートを囲む中、試合が始まりました。シングルス1の玉腰選手も初めは相手のスピードに翻弄されていましたが、徐々にスピードにもなれ、ポイントも取れるようになり、積極的に攻め、1ゲームを奪い返しましたが、さすがはプロ、玉腰選手のエース級のボールを更に早いスピードで打ち返し逆にエースを取れる片山選手はさすがでした。結果、1-8で敗れはしましたが通用するも展開もあり、良い経験になったと思います。続く、シングルス2の鈴木選手は佐野選手のフォアのスピニングボールとスライスボールにタイミングが合わず主導権を握られていたが、徐々にタイミングも合いポイントを取り始めましたが、最後まで自分のテニスができず1-8で敗れ今年の大会が終了しました。本人にとっても納得いく試合ができなかったと思うので、この悔しさを来年に繋

いでもらいたい。

少年男子の本県の選手は、2人とも初出場でシングルス1の横田選手は足工大附1年、シングルス2の青木選手は文星2年の若いチームです。初戦の相手は鹿児島県、シングルス2を2本とも勝ち初戦を勝利。続くに2回戦の相手は北海道、シングルス1の横田選手が8-6で勝ち、シングルス2の青木選手は2-8で敗れダブルス勝負となった。2人が組むのは初めてなので心配しましたが、先にブレイクすると波に乗り前半一気にゲームを連取した。中盤ブレイクされ6-4まで追いつかれ相手のサーブ、流れは相手になっていたが、青木選手の思い切ったストレートへのリターンが2本決まり、流れが再び栃木へ傾き、相手のサーブをブレイクするとそのままサーブをキープし8-4で勝利した。いよいよ、ベスト8まであと1勝、対戦相手は第4シードの新潟県、ここに勝って上位進出を目指したかったが、シングルス1の横田選手、接戦でマッチポイントまで奪ったが、サーブのミスが目立ち波に乗り切れず、惜しくも7-9で敗れ、青木選手も精彩をかき、1-8と敗れ今年も残念ながらベスト8の壁を破れなかった。しかし、2人とも来年があるので、来年こそはベスト8の壁を破って欲しい。

少年女子のシングルス1の諏訪選手は学悠館3年、3回目の出場、シングルス2の佐藤選手は作新2年、初出場である。初戦の相手は三重県、シングルス1の諏訪選手は3-8で敗れ、シングルス2の佐藤選手も4-8で敗れはしましたが、二人とも接戦でいい試合でした。対戦した三重県は今回シードではありませんでしたが、第6シードの神奈川県をストレートで破り7位に入賞し強豪チームでした。諏訪選手は来年から成年、佐藤選手は来年も少年で活躍を期待したい。

今年は少年男子が3回戦でベスト8まであと一歩、それ以外の種目は初戦敗退でしたが、選手は最後まであきらめず、栃木の代表として頑張ってくれました。また、吉村トレーナーには、忙しい中、帯同していただき、選手からの信頼も厚く、大変感謝しております。

最後に、いろいろとお世話になりました県教育委員会をはじめ県体育協会の皆様、また、遠くまで応援に来てくださいました父兄の皆様、本当にありがとうございました。5年後の栃木国体を目指し、来年は今年より良い結果を残せるよう頑張りますので今後ともご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。